

若狭町 議会だより



体験学習



もくじ

議長就任挨拶 P 2
委員会組織 P 2 ~ P 3
6月定例会 P 4
常任委員会報告 P 5
一般質問 P 6 ~ P 7
議会の動き P 8

若狭町議会議長 小堀 友廣

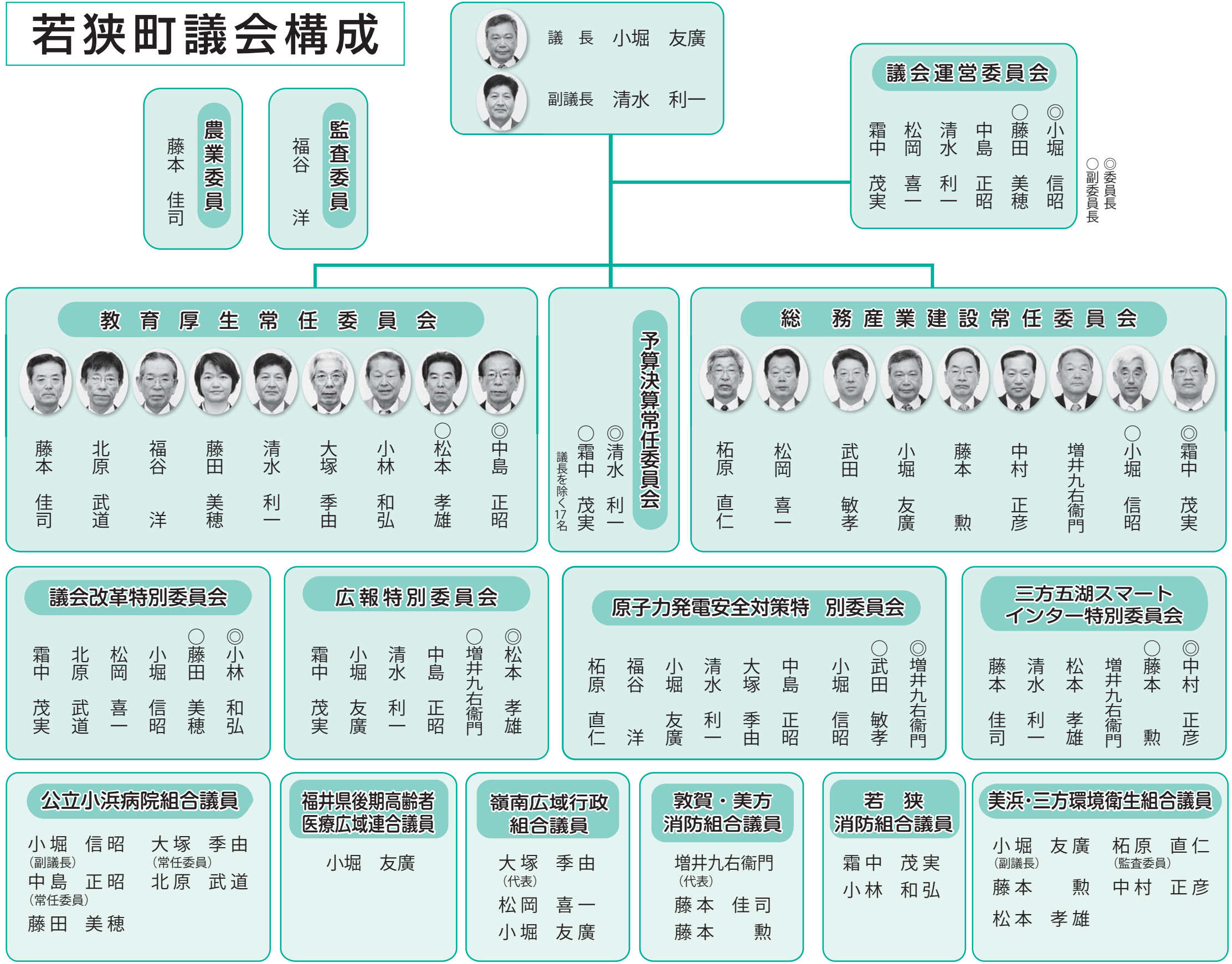
議会新体制を決める

若狭町第七代議長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。
 このたび五月十一日に召集されました臨時議会において議員各位のご推挙を受け、議長の要職に就かせていただきました。この重責を全うすべく日々精進し、ご支援下さった皆様へのご恩返しができますよう努めたいと思っております。

今、若狭町をとりまく環境はおおいに変わってきております。昨年の震災以降、政治経済、人間関係までなにかしらの変化があります。議会も環境の変化に対応して、常に改善の志を持っていなければなりません。地震によって、「我々の心のもっと奥深く眠っていた崇高な精神が呼び起こされた」といわれています。それは利己主義と全く逆の

もの、他を思いやり、守り育てるものです。近隣の市町との関係も同様に、運命をともにする隣人として、過去の歴史を共有し、未来の夢も不安も共有する同志として、広域の交通網の整備、防災の協定など共通の課題を検討しようとしております。
 また、議会が本当に住民のための議会となるように、「できることから」を合い言葉に開かれた議会を目指し、「語る会」の開催など、より身近な議会となるよう努力しますので、皆様のご支援ご協力をよろしく願います。

若狭町議会構成





6月定例会

【開催期間 6月8日～6月25日】

常神半島に介護施設整備 1,530万円

一般会計予算を3,035万4千円増額補正 本年度総額94億3,378万1千円



介護施設整備（神子）



かみなか農村公園照明修繕（市場）

（主な事業）

事業名	予算額	内容
一般コミュニティ助成事業	890万円	祭用具等（鳥浜・天徳寺・海土坂・小原）
原子力広報・安全対策事業	112万4千円	掲示板設置（下野木・気山・食見・南前川・上野・朝霧・三宅）
戸籍情報システム事業	382万7千円	戸籍情報システム改修
環境・エネルギー教育支援	65万円	放射線測定器・放射能鉱物標本購入
かみなか農村公園照明修繕	65万円	防犯灯修繕

小中学校全校に 配置



放射線測定器



放射能鉱物標本（各中学校のみ）

議会で意見書提出

■意見書の内容

◇北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

拉致被害者や特定失踪者について、まだ安否説明はなく、真相の究明がなされておらず、現在のこう着状況を一刻も早く打破するため提出するものです。

◇農業・農村の安全対策と農業の発展に向けた意見書

農業者戸別所得補償制度充実、鳥獣・病害虫による被害対策、農業・食料の安全対策について提出するものです。

総務産業建設常任委員会

条例の改正1件、指定管理者の指定2件、請願1件、その他1件を審査。いずれも全員一致で原案可決すべきものと決定しました。

○住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴う若狭町関係条例の整備に関する条例

従来外国人登録法が廃止になり、平成24年7月より外国人住民にも、日本人と同じく住民基本台帳法が適用となるものです。

○辺地に係る公的施設の総合整備計画の策定
若狭町常神において、公共施設の総合整備計画を進めるため、辺地対策事業債の発行および措置を行い、現在の常神・三方線を走行するコミュニティバス中型と小型計2台の更新を行うものです。

○若狭町梅加工体験施設の指定管理者の指定

敦賀美方農業協同組合
平成24年7月1日

平成29年3月31日

○四季彩館の指定管理者の指定

株式会社西野土木
平成24年7月1日
平成29年3月31日



四季彩館

○北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書提出の請願を採択



ツデーマーチでの署名活動

教育厚生常任委員会

○福井県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更

住民基本台帳法の改正により、一部字句の訂正を行ったものです。

○昨年12月議会及び今年3月議会で継続審査とした「子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書の提出を求める請願書」について不採択にしました。

国会の審議において、3党合意により政府提案の関連法案が見直されることになったため、今回の請願は不採択にという多数意見による。

予算決算常任委員会

主な質疑事項

問 原子力広報・安全対策事業の備品購入の具体的な内容は。

答 集落ごとによる希望でガラ入張りの壁掛けと脚付きの2種類で、大きさは横150cm、縦100cm、原子力の掲示板であるが、集落の情報にも利用可能である。



原子力広報掲示板（気山）

問 戸籍情報システムに、所得等すべての情報が入っているのか。

答 戸籍情報は戸籍のシステムであり、税の記録、住民基本台帳は住民情報システムの中にあり、全く別のものである。

問 また、今回の改正により、本籍地がある市町村に対する住民の異動があった場合、附票がネットワークで送られてくる。

答 これを連携して戸籍に取り組みことができるシステムである。

問 環境・エネルギー教育支援事業の放射線教育の実践に必要なデジタル放射線測定器等備品購入の意図は。

答 国の事業を受けて県が取り組んでいるもので、正しい知識や自然的なものを理解させるために小学校のころから学習させる。
コアー・ティーチャー養成事業とは、教員の教育力を向上するための教材などを補助する事業。

(文責：質問者本人)



小堀 信昭 議員

災害時情報伝達は

町長

ケーブルテレビ防災無線を検討

小堀 町の子育て支援は手厚い支援が行われているが、保護者から小学6年生までを対象にこの声がある。希望者に伝えられているのか。

上水では管路の破断、取水口付近の崩壊で取水不可能。地下水利用のところでは、停電で配水不能となるが。

町長 下水道の場合、停電でポンプが作動せずマンホールから汚水が溢れると予想される。

だが、パソコンが無いとその情報は得られないが。
町長 今、検討中でケーブルテレビ、防災無線等を考えている。

教育長 児童クラブ審査委員会において審査し入所を決定している。5、6年の高学年については、家事などの役割分担を果たしたり、自学自習など自立心を養うことを意図としている。今後は、受け入れ希望に応えられるようにクラブの新設も検討してまいりたい。

小堀 福島原発のような事故が起きた場合、放射能汚染で表流水を使う上中地区は大丈夫か。

町長 既存の上水施設の、凝集沈殿の過程で除去できる。



天増川取水口

小堀 防災の観点から、老朽化しているライフラインのインフラ対策、特に上下水道の被害予想は、

小堀 6月8日県の原子力防災の説明では、放射能拡散状況はスピーディーで確認をとること

町長 「自ら考え、自ら行動する」事の意義の大きさは、まさに本物志向の地域づくりだと思ふ、大切にしたい。

藤本 この大会は、大会経費も参加費で賄ったと聞く。大きな負担でも、満足できるものはお客は納得する。



若狭路「センチュリーライド2012」



藤本 勲 議員

民間人の発想による観光イベントの取り組みをどう思ふか広く多くの知恵で町にマッチした誘客イベントを

町長

若狭路「センチュリーライド2012」これはまさに本物志向の地域づくり 大切にしたい

藤本 我が町の1旅館経営者が、嶺南一帯でサイクリングを楽しむイベント「若狭路センチュリーライド2012」を開催した。その狙いは、嶺南が一体となるイベントで誘客促進をする仕組みを作る。舞若道開通による新たな誘客手法を探ると言っている一つのきっかけだったと聞く。このような思いを持って、民間人が企画実施したこのイベントをどのように思ふか。

広くPRし、三方五湖の自然を満喫いただける登山道で誘客につなげたい。
町長 入山料については、私自身もうなずけない思いもある。株主総会で検討したい。

まちづくり推進会議で町全体のランドデザインを検討

町長

舞鶴若狭自動車道が平成26年に開通となる 観光や産業の発展に期待するが町の準備は如何か

松岡 上中一C(仮称)より上中田烏線、特に山内地区の路面冠水対策はどうか。

町長 上中一Cより国道27号、162号は重要なルート、山内、小原地区の冠水部の高上げ舗装や改良工事を県に要請。早期に進めて頂く。

町長 現在、熊川地区の歩道等整備中、大杉、飯屋も県は順次整備の計画をしておられるが、舞若道完成に間に合うように更に要請してゆく。

松岡 三方PAスマートICの進捗とアクセスを問う。

町長 三方PAから舞若道と梅街道の相互乗り入れ可能になり、常神、三方五湖、レインボーライン、国道162号から小浜ルート、国道27号ルート等、観光への波及は大きい。
関係機関と実現に向けて協議中である。



松岡 喜一 議員

松岡 河内川ダム建設が本格化するが今の時



舞鶴若狭自動車道工事風景(生倉)

期、水力発電設置を考慮するべき。

町長 県より、再生エネルギー施設の一環として「小水力発電施設の導入を前向きに考えている」と報告を受けた。

松岡 他、原発の取り組み、県の振興局2局制が欠陥・嶺南一市構想は、公的4病院の運営について質問。

原子力発電若狭町環境安全対策協議会(環安協)の活動内容は

町長

町民の意見を原子力行政に反映させるために設置した

町長 11月、1回目の会議で原子力安全保安院の総括管理官から Fukushima 事故の検証状況等について情報提供してもらい意見交換した。3月、2回目は3事業者(関電、日本原電、日本原子力研究開発機構)から安全対策への取り組み状況を聞いた。今後適宜説明を受けたい。国、県、事業者への安全対策の要望等も行う必要がある。協議会の内容について公表等の努力をする。

北原 これでは、「原発は安全だ、環境に影響ない」という説明を受けるばかり



北原 武道 議員

町長 事業者との安全協定の見直しも含めた情報収集力の強化、国や県との情

だ。町民の目線というなら、たとえば福島環安協の方の意見などを聞いてみるのはどうか。つぎに防災対策室では、原子力防災に関してどんな業務を行っているか。

町長 国、県の動きを確認しながら、原子力防災計画策定の準備作業をしている。「情報収集と避難情報の伝達」「広域避難体制の整備」「原子力防災の啓発」が柱である。

北原 「国の原子力防災指針が未決定である」「県の原子力防災指針が未決定である」「これはこれで大きな問題だ。それにしても今できることは直ちに実施するべきだ。

報連絡体制の強化を図る必要がある。町が得た情報を確実に住民に伝える方法を確立する必要がある。吹田市や新たな市町との災害協力協定を検討する。

北原 国の指針(予定)では、本町はUPZ圏に入り、安定ヨウ素剤の予防服用などを準備する区域になる。保育園の保護者会や小学校のPTAの集まりなどを利用してヨウ素剤の解説をしてはどうか。

町長 国、県の指示がない中で、このことだけを説明すると、不安を感じさせると危惧する。

北原 「教える」と不安を感じさせる」というようなスタンスではダメだ。放射能は実際に怖い。「怖い」ということをきちっと教える。原発事故は絶対に起こしてはならない。しかし絶対起こらないとは言えない。万一起こった、被曝した。その時のためにヨウ素剤のことも知っている必要がある。

議会の動き



4月25日／矢筈山トンネル貫通式（気山）



6月1日／県町村議会議長会広報研修会（福井市）



6月19日／有害鳥獣処理施設視察（海士坂）



6月28日／小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会総会（小浜市）



【広報編集委員】

委員長 松本 孝雄
副委員長 増井九右衛門
委員 霜 中 茂実
委員 小堀 友 廣
委員 清水 利 一
委員 中島 正 昭



編集後記

本年度は私たち6名の委員で議会広報を担当することになりました。
町民の皆様から議会に対して、どの様なことでも結構ですのでご意見等をお聞かせください。
一年間、目を通していただけのような「議会だより」にするため、広報委員一同取り組んでまいります。
(松本 孝雄)